キルギス共和国日本語教師会会報
第 57 号 2020 年 9 月 30 日発行
Вестник Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики
№ 57 от 30.09.2020 г.

『キルギス日本語教育セミナー2020』

教師会初！ ウェブ会議システムによるワークショップ開催

◆2020 年 8 月 24 日と 25 日の二日間、『キルギス日本語教育セミナー2020』がキルギス共和国日本語教師会の歴史で初めてのオンライン・セミナーとして開催されました。

◆セミナーのワークショップを担当してくださったのは、１日目が作田奈苗（さくた ななえ）先生（津田塾大学津田塾大学、文京学院大学非常勤講師、NPO 多言語多読会員、認定ワークショップデザイナー）、２日目が関麻由美（せき まゆみ）先生（津田塾大学非常勤講師、 JSL 漢字学習研究会運営委員）でした。

◆作田先生は「多読」をテーマに、また、関先生は「漢字マップで漢字学習を創造的に～漢字と仲良くなろう～」と題して、実践例や貴重なヒントが盛り沢山のワークショップをしてくださいました。

◆参加した現役の日本語教師はもちろん、大学院生と学部生の感想も、「和やかであたたかい雰囲気で堅苦しく感じることがなかった」と初めてのオンライン・セミナーに満足してくれたようです。

◆参加者には今回のセミナーについてアンケートに答えてもらいました。セミナーで新しい知識を得たことに関しては、「授業で必ず使ってみたい」、「貴重な経験ができた」、「勉強になった」「これからは日本語をもっと楽しく勉強できそうだ」、「フィードバックすることができてよかった」、という感想が多く寄せられました。「得られた知識を活かして創造的な授業に取り組んでいきたい」、「これからもぜひ参加したい」と書いた人もいます。

◆新型コロナウイルスの感染拡大で開催が危ぶまれた日本語教育セミナーですが、オンライン・セミナーの形で開催できました。ウェブ会議システムを使ったセミナー開催は教師会にとって初めての経験でしたから、開催実行委員は準備の段階から大変だったと思います。たくさんの温かい励ましの言葉もいただきました。今回のセミナーの成功は、多くの方々に協力していただいたおかげです。

◆参加者の皆様には心から感謝申し上げます。皆様との再会を楽しみにしております。オンラインであっても対面であっても、これからもキルギス共和国日本語教師会のイベントに是非ご参加ください。

◆皆様の更なるご活躍とご健康をお祈りして！

キルギス共和国日本語教師会
広報委員会 会報編集部
ザイートワ・シャヒデム

「キルギス日本語教育セミナー2020」を終えて

作田 奈苗（津田塾大学非常勤講師／ＮＰＯ多言語多読）

◆「来年の夏、キルギスで発表しよう」と誘ってくださったのは、同僚の関麻由美先生です。去年の秋のことでした。「私なんかが発表していいのだろうか」とは思いましたが、キルギス愛あふれる関先生のお話を聞くにつけ行ってみたくなり、旅行の計画を立て始めました。

◆結論から言えば、私たちの一年がかりの計画は、COVID19 のパンデミックによって吹き飛ばされました。にもかかわらず、オンラインという形で無事に発表させていただくことができたのは、まったくもってキルギス教師会の先生方のご厚意によるものでした。

◆実は正直に言うと、私が持っていく「多読」という学習方法に、興味を持ってくださる先生がどれほどいらっしゃるだろうか、大会でもない夏休み中の集まりに来てくださるのだろうかと、私は当初、不安に思っていました。ところが、当日になると、キルギスだけではなく近隣諸国からも 40 人近いみなさんが参加してくださり、私の発表を熱心に聞いてくださったのです。非常に光栄に思いました。

今回のセミナーでは、参加してくださった先生方との対話を通して、私はいろいろなことを学ぶことができました。

◆まず第一に、多読という語学学習方法の可能性の大きさを私自身がわかっていなかったことに気づかされました。多読の読み物を読んだ先生方が、口を揃えて「日本の文化を知ることができる」とおっしゃってくださったのです。日本語を読むことによって言葉を覚えるだけではなく、読む内容を通して日本の文脈を知るということ。私は何年も多読授業を続けてきたのに、そして、その授業の中でも、学生たちが同じようなことを言ってくれていたのに、この面を軽視していたと反省しました。ちょうど、セミナー後に始まった新学期に、上級の学習者が日本の文化を知ることを主要な目的として私の多読授業を履修するということもあり、多読にはこんな魅力もあったのかと、先生方のおかげで再発見しました。

◆第二に、ガリーナ先生が多読の読み物について、学習者が多読によって語学を身につけるだけでなく、「心を豊かにする」とおっしゃったことです。これは、多読の読み物が単なる学習のための材料ではなく、極端に言えば文学にもなり得るということだと思いました。このことについては、実際に英語多読の研究者の間でも主張する人がいます。私はそれを知っていたのですが、これまたガリーナ先生の一言を聞くまで忘れていました。このことはとても興味深いので、これから私自身のテーマにしようと思っています。

◆第三に、日本の国立国語研究所からご参加くださったパルデシ先生のご感想です。お読みになった読み物に「空が曇る」と同時に「心も曇る」という記述があり、「曇る」という言葉が、物理的な意味と心理的な意味の両方を持つことがわかることが興味深いとおっしゃったことです。私はこのような点から多読の読み物を分析したことが今までありませんでしたので、とても勉強になりました。

◆他にも、先生方がお話しくださったご感想、ご質問や、それに続く対話から、たくさんのことを学びました。私が多読についてみなさんに説明するというよりは、みなさんが多読について発見なさったことを私に教えるセミナーであったと言ってもいいかもしれません。

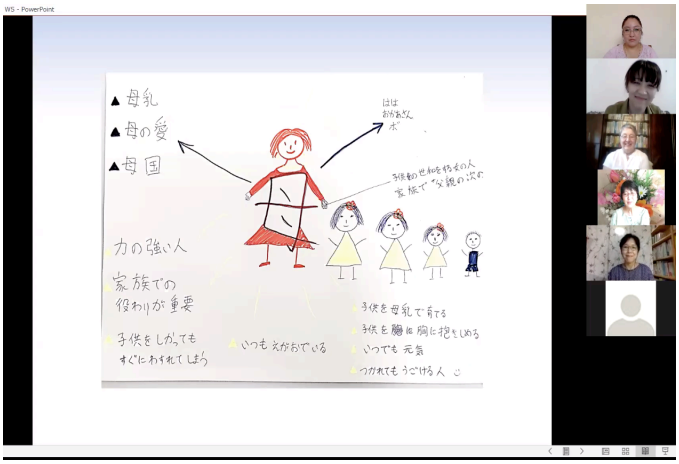
◆しかし、何よりも忘れがたいのは、キルギス教師会の先生方のお気遣いとおもてなしでした。初めてのオンライン開催であるにもかかわらず、練習までして準備してくださり、当日は、余計な緊張感のない、なごやかなあたたかい雰囲気で迎えてくださいました。あまりの居心地良さに、翌日の関先生のご発表の後、Zoom を離れ難く、最後には画面上でみなさんと手を繋いでお別れをしたのですが、その時は胸が熱くなりました。

◆COVID19 の流行は予断を許さない状況で、いつになれば海外旅行できるようになるのか見当もつきません。でも、また自由に行き来できるようになったら、今度こそ実際にキルギスのやさしい空気に触れに行きたいと強く思いました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

8 月 24 日：作田先生のワークショップ
様々な多読教材が紹介されました

8 月 25 日：関先生のワークショップ
スライドで紹介された漢字マップの作品「母」



日本語教育オンラインセミナー2020 ワークショップ
「漢字マップで漢字学習を創造的に～漢字と仲良くなろう～」を振り返って

関 麻由美（津田塾大学非常勤講師）

◆漢字マップを通して、みなさんは、漢字と仲良くなれたでしょうか。

◆2 年前､漢字マップについてのワークショップを『第 2 回キルギス日本学・日本語教育国際研究大会』でビシケク人文大学（現ビシケク国立大学）にてさせていただきました。ですから、今回のワークショップはキルギスにおいては 2 回目になります。とはいうものの、オンラインでのワークショップということで、みなさんの反応が画面を通して伝わってくるだろうか、参加者のみなさんが描いた漢字マップをお互いにうまく見せ合うことができるだろうか、楽しんでもらえるだろうかと不安に思いながら、ワークショップの日を迎えました。

◆でも、zoom の画面に映ったたくさんの懐かしいお顔を拝見したら、不安な気持ちはふき飛びました。いつもの居心地の良い場所にもどってきたような感じです。ワークショップでみなさんに漢字マップを描いていただきましたが、ご自分の描いたマップを「私のマップはこれです。見てください！」と積極的にみなさんに見せてくださる様子に、とてもほっとし、嬉しく思いました。

◆ワークショップをみなさんが盛り立ててくださったおかげで、本当に楽しいひと時になりました。それぞれの漢字マップには、一人ひとりの、そのことばとの繋がりがわかるエピソードがあります。漢字マップを通してそのエピソードを共有できたことが、とても楽しかったのです。

◆とくに印象に残ったのは､「対面」という漢字マップです。今のこのコロナ禍だからこその漢字マップでした。おそらく、参加者全員が望んでいたことばだと思います。私はこのワークショップでみなさんが描いた漢字マップを通して、漢字と、いや、みなさんと、さらに仲良くなれたと思っています。いつか、コロナウィルスが終息したら、ぜひ、「対面」でお目にかかりましょう。

◆最後になりましたが、準備を整えてくださった教師会の先生方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

キルギス日本語教師会「日本語教育オンラインセミナー2020」に参加して

ヴォロビヨワ・ガリーナ、Ph.D.

1）初めてのオンライン・セミナー

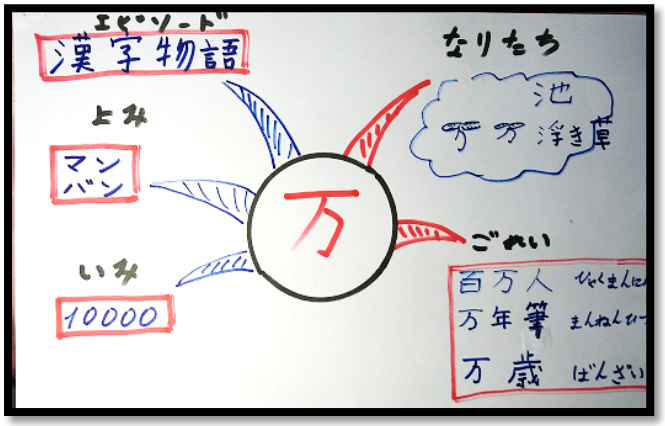
◆2020 年 8 月 24～25 日にキルギス日本語教師会が開催した日本語教育オンラインセミナー2020 に参加しました。セミナーのテーマ「多読」と「漢字マップ」は学生の読む能力と書く能力の育成にとって非常に重要だと思います。このセミナーの実施に参加して実行委員の一人として、また同時に参加者の一人としての感想を述べることにします。

◆キルギス日本語教師会がオンラインセミナーを開催したのは今回が初めてです。教師会は毎年 8 月下旬に「日本語教育セミナー」か「日本学・日本語教育国際研究大会」を開催してきましたから、今回のセミナーも対面形式で計画されていました。講師の作田奈苗先生と関麻由美先生は早くから航空券も購入されていました。

◆ところが、新型コロナウィルスのパンデミックのせいでこの夏はキルギスにいらっしゃることができなくなりました。そこで、教師会はコロナウィルスに負けじと、オンラインでセミナーを実施することにしたのです。もちろん近い将来必ず作田先生と関先生がキルギスに来てくださるものと、楽しみにお待ちしています。

◆セミナーの参加者はキルギスだけではなく、日本、ブルガリア、ウズベキスタン、カザフスタン、それにタジキスタンからでした。

関先生のワークショップで私が作成した漢字マップ



◆キルギス日本語教師会の会員、賛助会員、元会員、学生、大学院生、大学の卒業生、中央アジアの日本語教師の皆さんのお顔を久しぶりに拝見することができて、嬉しかったです。

◆駐キルギス共和国日本国大使令夫人である前田佳永子先生と大使館二等書記官の井實聡氏、NPO 多言語多読の理事長の粟野真紀子先生、そして国立国語研究所のプラシャント・パルデシ教授もご参加くだり、教師会にとって光栄でした。

◆教師会はオンラインでセミナーを開催した経験がなかったので、実行委員はみんな心配していましたが、できるかぎりスムーズにいくように手分けして準備しました。おかげでとても有意義な 2 日間となりました。セミナーの二日間、停電やインターネットの問題という「キルギス・トラブル」が起こらなくて幸運でした。

◆延べ 75 人（1 日目には 39 人、2 日目には 36 人）が、楽しく活発に参加してくれて、画面を通して見える参加者の笑顔とうなずく様子にほっとすると同時に、嬉しい気持ちになりました。

◆セミナーは今回もキルギスの日本語教育普及活動に大きな貢献を果たしたと思います。「多読」と「漢字マップ」のワークショップで得た知識は、キルギスの日本語教育の現場ですぐに活用されると期待しています。

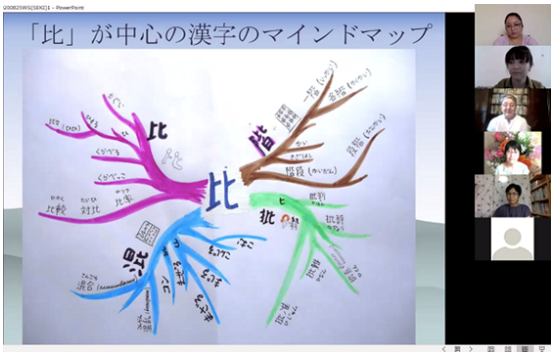
◆新年度 9 月もオンライン授業が続いているキルギスでは作田先生と関先生が紹介してくださった貴重な資料がインターネットからダウンロードできるので教師にとって特に役に立つと思います。是非、活用してみてください。

2）私の「漢字学習指導」実践報告

◆関先生から提案があったので、先生のワークショップの中で私も漢字マップの指導実践報告をしました。ビシケク国立大学で実施した「漢字学習法」に関する授業についての発表でした。

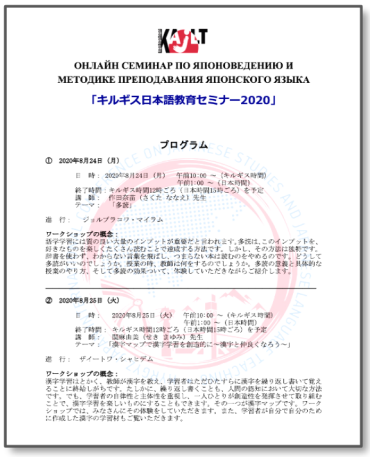
◆主に効率的な漢字学習をする際に使用できる「マインドマップ」、「漢字マップ」、「概念地図」の話をして、ビシケク国立大学の学生が作成したマインドマップを紹介しました。

学生が作成したマインドマップ



3）感謝とこれからの目標

両手を繋いで・・・



ОНЛАЙН СЕМИНАР ПО ЯПОНОВЕДЕНИЮ И МЕТОДИКЕ ПРЕПОДАВАНИЯ ЯПОНСКОГО ЯЗЫКА

「キルギス日本語教育セミナー2020」

プログラム

① 2020年8月24日（月）

日　時：2020年8月24日（月）　午前10:00 ～（キルギス時間）
午前1:00 ～（日本時間）
終了時間：キルギス時間12時ごろ（日本時間18時ごろ）を予定
講　師：作田奈苗（さくた　ななえ）先生
テーマ：「多義」

進　行：　ジュルブラコワ・マイラム

ワークショップの概念：
漢字学習には質の違い大量のインプットが重要だと言われます。多くは、このインプットを、好きなものを楽しくたくさん読むことで達成する方法です。しかし、その方法は長期です。辞書を使わず、わからない言葉を飛ばしつづまらない本は読むのをやめるのです。どうして多読がいいのでしょうか。授業の時、教師は何をするのでしょうか。多読の重要と具体的な授業のやり方、そして多読の効果について、体験していただきながらご紹介します。

② 2020年8月26日（火）

日　時：　2020年8月25日（火）　午前10:00 ～（キルギス時間）
午前1:00 ～（日本時間）
終了時間：キルギス時間12時ごろ（日本時間18時ごろ）を予定
講　師：　関麻由美（せき　まゆみ）先生
テーマ：「漢字マップで楽しく学習を創造的に～漢字と仲良くなろう～」

進　行：　ザイートワ・シャミリム

ワークショップの概念：
漢字学習はとして、教師が漢字を教え、学習者はただひたすらに漢字を繰り返し書いて覚えることに終始しがちです。たしかに、繰り返し書くことも、人間の脳において大切な方法です。でも、学習者の自発性と主体性を重視し、一人ひとりが創造性を発揮させて取り組むことで、漢字学習を楽しいものにすることもできます。その一つが漢字マップです。ワークショップでは、みなさんにその体験をしていただきます。また、学習者が自分で自分のために作成した漢字の学習材もご覧いただきます。

◆今回のセミナー開催に当たっては、初めてのオンライン・ワークショップということもあって実行委員の仕事は普段以上に大変でした。セミナーの準備は、氷山の沈んだ部分のように大きな仕事でした。そんな、表面には見えないけれどとても大変な仕事に参加してくれた教師会メンバーの名前を公開したいと思います。それは、

- ビシケク国立大学日本語日本文学研究講座講座長ジュヌシャリエワ・アセーリ先生、
- ビシケク国立大学講師ウシケムピロワ・ナズグーリ先生、
- ビシケク国立大学教授氏原名美先生、
- キルギス国立大学付属日本学院講師イシライロワ・ジルディズ先生、

以上の方々でした。

◆素晴らしく、興味がつきないワークショップを実施してくださった津田塾大学の作田奈苗先生と関麻由美先生、実行委員のみなさん、二日間一緒に楽しく過ごした参加者の皆さんに心よりお礼を申し上げます。

◆今回教師会はセミナーのオンライン開催という経験を少し積むことができました。これからもオンラインでも、対面式でも、有意義なセミナーを開催していきましょう。

◆実は、実行委員会の反省会で新しいアイディアが生まれました。セミナー終了の時刻になっても、みんな別れがたかったようで、主催者もなかなかラインをオフにできませんでした。反省会で提案されたのは、これから、もしセミナーがオンラインだったら、終了後にオンライン懇親会を開こうというものでした。オンラインで乾杯したり好きなものを食べたり飲んだりしながら楽しくおしゃべりができたら素敵ですね。

◆今回は、セミナー終了とともに参加者は自分の両隣に顔が映った人に手をのばして両手を結ぶようなポーズをとって再会を誓いあいました。外国から参加してくださったみなさん、ご自分の国でオンライン・セミナーを開催することがあったら、是非キルギスからも参加者を招待してください。経験したこと、学んだことをお互いに交換しあいましょう。

◆宮沢賢治の「雨ニモマケズ」にもあるように、

雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
丈夫ナカラダヲモチ…

😃皆さん、コロナウィルスなんかに負けないで、これからも力を合わせてがんばりましょう！

特別寄稿

駐キルギス日本国特命全権大使夫人 **前田 佳永子 様**（元日本語教師）より

キルギス日本語教育セミナー2020

世界に広がる輪～新鮮な出会いの喜び

◆キルギス日本語教育セミナーの開催のお祝いと、そのご盛況をお喜び申し上げます。

◆今回はコロナ禍中のオンラインでの開催で、皆様、ご準備やお手配にも気を使われたのではと拝察致しております。が、皆様のご尽力で、画面の中の笑顔は絶えることなく、ご講義もワークショップもとても自然に進み、新しい形のセミナーを楽しむことができました。又私も東京から参加させていただきましたが、世界に広がるご参加の輪にも新鮮な出会いの喜びがあったように思います。ご参加の皆様の思いは一つに集い、会話も笑顔も距離をかき消しての時間でした。皆様とご一緒できました事、本当に嬉しく思います。

◆ご講義もとても興味深いテーマを分かりやすくお教え頂き、楽しんでいる内、あっという間に時間が過ぎていきました。「多読」も「漢字」も、これからは普段の視点が増え、ご講義の中の先生のお言葉が度々に思い起こされる事と思います。貴重なご講義をありがとうございました。

◆このように深く有意義なセミナーが成り立つのも、教師会先生方の日本語への深いご造詣と普段からのご研鑽があってこそと思います。本当に美しく自然な会話に、日本人として喜びが心にあふれます。先生方、学生の方々、皆様に深いご尊敬と感謝の思いをお伝え申し上げます。ありがとうございます。

◆これからも皆様の日本語の世界が、豊かに実っていきますよう、又日本語を通して世界中に広がる絆がより一層のものとなりますようお祈り申し上げます。

令和のキルギス日本語教師会

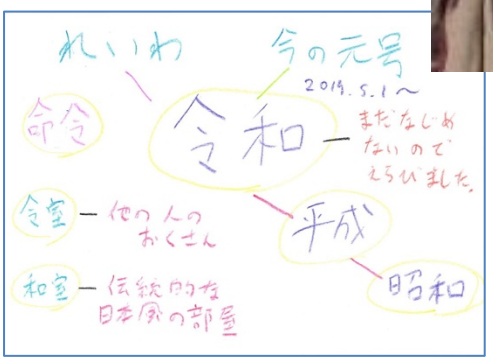
高橋 知也（ブルガリア共和国ソフィア大学客員講師）

◆キルギス日本語教師会の初めてのオンラインセミナーにただ一人ヨーロッパから参加させていただきました。

◆私がビシケク人文大学(当時)で教えていたのは2002年から2005年までしたが、その頃から今までずっと教師会を支えているベテランの先生たちの顔を久しぶりに見ることができたのはうれしいことでした。また、現役の学生を含む日本語専門の若い人たちが大勢参加しているのを見て、キルギスにおいて日本語教育が着実に根を下ろしている様子を見て取ることができました。

◆関先生のセミナーで作成した漢字マップを紹介します。漢字語として、去年からの新しい元号「令和」を選びました。

◆「平成」の時代にゼロから始まったキルギスの日本語教育が「令和」の時代にどのように拡大していくのか、この先の進展を楽しみにしています。



漢字の KOKORO：辛くても、一歩踏み出すと幸せになれる

ウスモン マヒノーズ
タジキスタン共和国 日本語・日本文化センター「ココロ」
JLCC «KOKORO» 日本語教師

◆私は以前、短い期間（2009～2011）でしたが日本に住んでいました。最初は不安だらけでしたが、タジキスタンと日本の生活、人間関係、習慣、文化等が大きく異なっていることを実感し、様々な経験を通して、もっと日本のことを知りたいと思うようになりました。帰国が決まった時には、必ずもう一度留学で、日本に戻って来ようと心に決めていました。

◆私の願いは叶い、2013 年 4 月から 1 年間日本語を東京外国大学で勉強した後、2014 年に千葉大学文学部日本文化学科に入学することができました。千葉大学では、日本文化を様々な視点から、より深く学ぶ機会ができ、とても楽しかったです。

◆千葉大学を卒業後、タジキスタンに帰国しました。私は、帰国する前に、母国に帰ったら絶対日本語教師になると心に決めていたので、2019 年に「心」という日本語・日本文化センター（JLCC «KOKORO»）で日本語教師としての活動を始め、今に至っています。

◆JLCC «KOKORO» はタジキスタンで初の日本語・日本文化学習センターであり、私はセンターの一員になれたことに感謝しています。日本で学んできたことをこちらでは教えることができるからです。

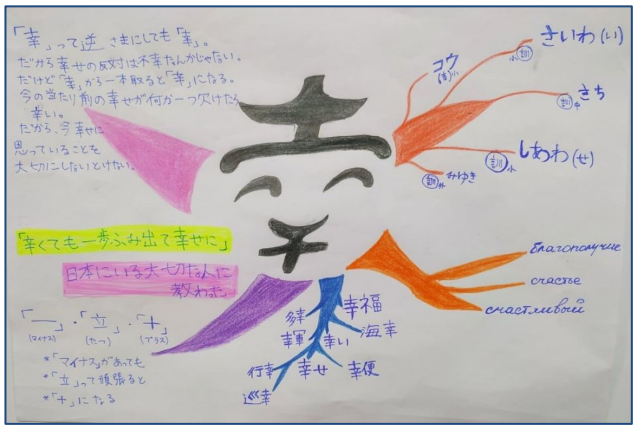
◆8 月 25 日の「キルギス日本語教育セミナー2020」へのオンライン参加は、私にとって初めての経験でした。新型コロナウイルスの影響で世界中が深刻な状況になり、とても残念だと思っていますが、ZOOM では国境を越えて日本、キルギス、カザフスタン、ウズベキスタンの方々のセミナーでの発表を聞くことができました。とても嬉しかったです。

◆残念ながらセミナーの 1 日目「多読」というテーマの作田先生の講演には参加できませんでした。2 日目はガリーナ先生と関先生が発表された、楽しく漢字を教える方法はとても勉強になりました。授業で使ってみようと思います。貴重な体験ができ、とても感謝しています。

◆漢字と仲良くなるために、セミナーに参加されていた方々は、一人一つずつ漢字を書いて発表されました。私も、発表したものをここで改めて紹介したいと思います。

◆漢字の意味：
「幸」って逆にさまにしても「幸」。
だから、幸せの反対は不幸なんかじゃない。
だけど、「幸」から棒を一本取ると「辛」になる。
今の当たり前の幸せが、何か一つ欠けたら辛い。
だから、今幸せに思っていることを大切にしたい。

◆覚え方：
「幸」の字には「−」・「立」・「＋」がある。
「−」（マイナス）があっても、「立」って頑張ると、「＋」（プラス）になる。
「辛くても、一歩踏み出すと幸せになれる。」という表現があります。そんな気持ちを大切に生きていくことが大事なのです。



◆「キルギス日本語教育セミナー2020」に参加させて頂き、本当にありがとうございました。これからも、他のセミナーにも参加させて頂ければ、ありがたいです。

ОНЛАЙН СЕМИНАР 2020 ПО ЯПОНОВЕДЕНИЮ И МЕТОДИКЕ ПРЕПОДАВАНИЯ ЯПОНСКОГО ЯЗЫКА стал одним из первых онлайн семинаров в Центральной Азии.

Хамидова Наргиза Мирвахидовна

Преподаватель японского языка Узбекского государственного университета мировых языков

Выражаю благодарность за организацию и проведение на профессиональном уровне онлайн семинара, который собрал участников со всей Центральной Азии и зарубежных стран.

Ассоциация преподавателей японского языка Узбекистана тесно сотрудничает с Ассоциацией преподавателей японского языка Кыргызской Республики. Преподаватели всегда с радостью делятся своим опытом и новыми методиками преподавания японского языка.

До сих пор семинары проводились очно. Этот семинар стал одним из первых онлайн семинаров по японскому языку в Центральной Азии. В очередной раз было очень приятно послушать специалистов из Японии обменяться мнениями со своими коллегами из Киргизии, Таджикистана, Казахстана и других стран. В течение 2 дней была возможность познакомиться на практике с методикой обучения иероглифам японского языка.

Как известно одним из самых сложных аспектов изучения японского языка для студентов нашего региона являются именно иероглифы.

Нанаэ Сакута сенсей и Маюми Сэки сенсей поделились новыми интересными методами преподавания японского языка. Думаю, навыки, приобретенные во время семинара, будут очень полезны в дальнейшей преподавательской деятельности.

Хочу пожелать преподавателям Киргизии успехов в дальнейшей работе.

「多読」という特別な読書 →「多読」という独特な語学学習法

ソボレワ・アリーサ（ビシケク国立大学大学院修士課程）

◆8 月 24 日の「キルギス日本語教育セミナー2020」オンライン・ワークショップに参加しました。日本語教育や教授法に関するセミナーに参加するのは今回が初めてではありません。2018 年の漢字に関する興味深いセミナーに参加したことがあります。

◆「キルギス日本語教育セミナー2020」は 2 日間の日程でしたが、私は 1 日目の「多読」についてのワークショップに参加しました。作田先生の講義でした。読書はことばの学習において非常に重要なプロセスだということが改めてわかりました。

◆このセミナーでは、自分のためのコツを学ぶことができたと思います。日本語には「多読」と呼ばれる学習システムがありますが、この学習法にはいくつかの特徴があります。 例えば、読書中に辞書を使用しないことです。なるほど！と思いませんか。そして、読むときは興味のある本を選ぶことです。この読み方は、情報を認知する一番早い方法です。

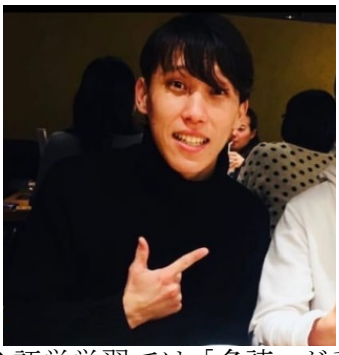
◆「多読」は単に「たくさん読むこと」の勧めではありません。日本語で読む方法を学ぶことです。多読はいくつかの段階で構成されていて、難易度が最も低い（簡単な）「0」から最も高い（難しい）「4」まであります。

◆セミナーではオンラインでグループに分かれて、この「特別な読書」の体験談を話し合う機会もありました。ワークショップではみんな本当に楽しそうでした。

◆このような素晴らしいワークショップをしてくださった作田先生に心から感謝の意を表したいと思います。

COVID-19 とオンライン日本語教育セミナー

アサンカリーエフ・ダスタン（ビシケク国立大学大学院修士課程）



◆私は、8 月 24 日と 25 日の二日間にわたって、キルギス日本語教師会主催の「日本語教育セミナー」に参加しました。作田先生や関先生やガリーナ先生が面白いテーマで発表をしてくださいました。

◆語学学習では「多読」が重要だと言うことが分かりました。この学習法は独特で、辞書を使わないで好きなものをたくさん読むことです。作田先生の話を聞きながら、自分が２年生だったときのことを思い出しました。クラス担任のチョルポン先生に何回も「辞書を使うのは駄目！」と言われていましたが、それでも知らない言葉があったら、見つからないようにこっそり調べていました。見つかって先生に叱られたことも何度もあります。

◆今回、改めて漢字学習を楽しいものにするマップについて学びました。一昨年の漢字に関する関先生の発表や、ガリーナ先生の授業で漢字学習についていろいろ教えていただきましたが、今回のワークショップでは、自分で体験してみたし、学習者が作成した漢字マップを見ることができて凄く楽しかったです。ありがとうございました。

◆今年のセミナーは、新型コロナウイルスの影響でオンライン・ワークショップになりました。キルギスから日本へ、日本からキルギスへ、お互いに外国籍者入国拒否となって以降、各地を結ぶ国際便は運航がストップしたままです。今年はセミナーがないかもしれないと言われていましたが、オンラインで実施されて嬉しく思います。セミナーを開催してくれたキルギス日本語教師会に感謝したいと思います。

◆ただ、初めてだったせいか、オンラインの欠点も目立ちました。発表の間聴講者がマイクもカメラもオフにしていると顔が見られなくて、質問対応の時にとても不便だと感じました。聴講する際のルールをはっきり決めてみんながオンラインのイベントに早く慣れるようになったらいいと思いました。ですから、次のセミナーが楽しみです。

対面式でなくても充実した二日間

ボロトベック・クズ・サイカル
筑波技術大学大学院情報アクセシビリティ専攻（手話教育コース）

◆今年のキルギス日本語教育セミナーは初めてオンラインで実施されましたが、非常によかったと思います。ディスカッションもグループワークも問題なくできたし、中央アジアや日本にいながらにして参加できたので、対面式よりよかったと言ってもいいかもしれません。

◆一日目の作田奈苗先生のワークショップ「多読」は、新鮮でとても興味深かったです。辞書を引かずに分からないところは飛ばして読むというルールを知りました。私自身、日本語の力を伸ばしたいと思って日本語の本を原文で読もうとしたことがありますが、わからない言葉があるとすぐに辞書を引いていると内容に集中することができなくなり、結局１ページ読んだだけで終わってしまいました。

◆作田先生のお話を聞いて、学習者はまず「多読」から始めるべきだと思いました。

◆二日目は関麻由美先生に漢字マップについてお話ししていただきました。

◆私が一番感動したのは「指輪」のマップです。ガリーナ先生の授業で私も漢字マップを描いたことはありますが、あの時はあまり深く考えませんでした。これから、誰かに漢字を覚える方法についてきかれたら、ぜひ漢字マップについてのことを伝えたいと思います。

◆講師の先生をはじめ実行委員の先生方、参加者の皆さん、二日間、どうもありがとうございました。私も参加できて光栄です。

◆来年のセミナーでまたお会いしたいですね。

勉強が楽になる→勉強が楽しくなる

アイティケーワ・ガリヤー
ビシケク国立大学大学院修士課程

◆8 月 24 日と 25 日、私は初めてオンラインセミナーに参加しました。発表は大変面白くて、勉強になりました。まず、作田先生の「多読」のワークショップについてお話ししたいと思います。

◆多読とは、たくさん読むだけではなく、特別なルールがあり、どんなレベルにも有効な学習法です。日本語を習い始めた人にとっても、もうかなり勉強が進んでいる人にも、それぞれの言語運用能力に適した読み物を探すことができます。

◆大事なのは、わからない単語があっても辞書を使わず読むことです。そして、読むのは本だけではなく、漫画やコミックなどでもいいのです。それを聞いて、私は漫画がとても好きなので、とても嬉しかったです。

◆わからない言葉が出てきても、コンテクストから分かる場合がありますが、漫画は時々作者の造語や古語などがあって、分かりづらいことがあります。でも、そんな言葉は書き出しておいて後から調べるようにすれば、語彙を豊かにすることができます。

◆25 日は関先生の「漢字マップ」のワークショップでした。関先生のお話は 2018 年に初めて聞きました。漢字が苦手の私にとって、とても役立つ内容でした。漢字マップを作ってみたり、漢字を編と旁に分解してみたり、絵を描いたりする方法を知りました。そうすると楽に覚えられるようになります。

◆このような素晴らしい発表を聞かせていただき感謝しています。セミナーで得た知識を活かして、楽しく学んでいきたいと思っています。

「日本語教育セミナー」オンライン・ワークショップに参加して

ナディルベコワ・アセーリャ（ビシケク国立大学東洋国際関係学部 4 年）

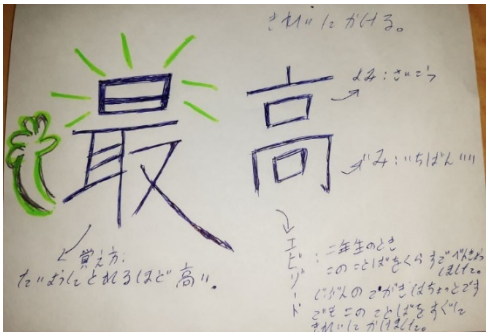
◆8 月 24 日と 25 日の二日間にわたって津田塾大学の作田奈苗先生と関麻由美先生が講演してくださいました。zoom を通してのオンラインセミナーでしたが、なんの支障や雑音もなくスムーズにいけたと思います。

◆多読についてのセミナーでは、リーディングが紹介され、サイトが共有されたため、とても役に立ちました。多読について分かりやすく説明してくださりありがとうございました。多読は、言語の学習効果が上がるし試験の準備にも適しています。教えていただいたことをこれからの勉強に役立てていきたいと思いました。

◆また、先生から私たちのグループ討論にコメントをいただきました。私たちは選んだテキストについてグループで話し合いました。多くの人が Sakura のテキストを選択しました。

◆2 日目のセミナーでは、最も役立つ漢字の覚え方について学びました。先生は、学習者が面白いマップを作れるようにさまざまな例を見せてくださいました。漢字の成り立ち、覚え方、読み方、意味、漢字に因んだエピソードなどがありました。私にとって、「歩く」の漢字を覚えるのはいつも大変でした。セミナーで先生に例として挙げてもらい、どのようにすれば覚えられるのかを教えていただきました。例えば、ある方法は「小さく少し止まって→歩く」でした。

◆こんなふうにして覚えるのは、本当に簡単だと感心しました。早速、自分でも好きな漢字を使って言葉についてのマップを作ってみようと思いました。



◆これは私が作ってみた漢字マップです。「最高」は私の好きなことばです。

◆こんなに楽しい方法を教えてくださって、本当にありがとうございました。これからは漢字と仲良くできそうです。

『キルギス日本語教育セミナー2020』は
オンラインでも面白い！

ムラトワ・ウムット（ビシケク国立大学東洋国際関係学部４年）

◆今年の「日本語教育セミナー」は新型コロナウイルスのせいでオンラインになってしまいました。でも、とても楽しいセミナーでした。

◆１日目の作田奈苗先生のお話しは「多読」についてでした。多読という言葉を辞書で調べたら、たくさん読むという意味しかなかったので私は学習方法としての「多読」については全然知りませんでした。セミナーで作田先生が「多読」の本当の意味を教えてくれました。

◆「多読」というのは、好きな本を辞書を引かずに何度も読むことだとわかりました。つまり、楽しくたくさんインプットするのです。必ずしも難しい本を読む必要はなくて、自分に興味がある本を読むことが大事です。

◆「多読」のレベルは０から４までです。私はワークショップで０レベルの「ちょっと」というテキストを読みました。面白い絵がいっぱいあって、読みやすいと思いました。

	レベル	語彙数	文字数
レベル0	入門	300	～400
レベル1	初級前半	350	400～1500
レベル2	初級後半	500	1500～2500
レベル3	初中級	800	2500～5000
レベル4	中級	1300	5000～10000

◆日本語を勉強するのなら「多読」は絶対に役に立つと思います。読むのがいつも教科書ばかりだったら、すぐに疲れて嫌になってしまうでしょう。でも、自分が面白そうだと思うものをどんどん読んでいけば、楽しく日本語を勉強できそうです。

◆２日目は関麻由美先生の「漢字マップで漢字学習を創造的に～漢字と仲良くなろう～」でした。私にとって漢字を覚えるのは大変です。どうしても漢字と仲良くなれるなんて考えたこともありません。でも、先生がいい方法を教えてくれました。覚えたいと思う漢字で「漢字マップ」を作る方法です。「漢字マップ」で漢字の読み方や意味を書いたり、自分が思い浮かべた漢字のイメージを描いたり、勉強したい漢字を使って文を使ったりしたら、漢字は楽しく覚えられます。

◆私は「希望」という漢字をマップにしてみました。私の名前の意味は日本語で「希望」ですから、自分のことを描きました。「私はお母さんの希望です」という文も添えました。

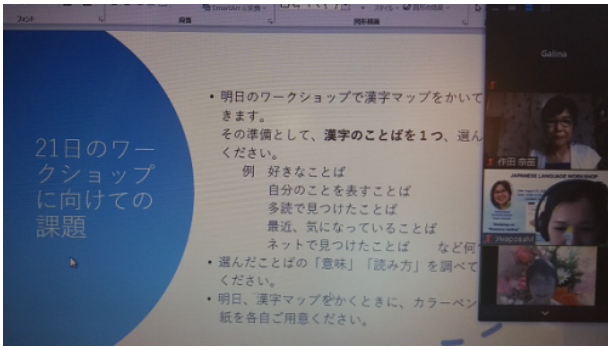
◆「希望」という漢字はもう絶対に忘れません。日本語の勉強では覚えなければならない漢字が多いので、どの漢字もマップを作っていたら時間がかかりすぎると思います。だから覚えやすい漢字はマップを作らなくてもいいかもしれません。なかなか覚えられない難しい漢字を漢字マップにしていけばいいのではないでしょうか。

◆作田先生、関先生、ありがとうございました。セミナーはオンラインでしたが、とても素晴らしかったと思います。普通のセミナーでなくても、対面式でなくても、本当に面白かった。フィードバックすることができたのもよかったです。また「日本語教育セミナー」に参加したいです！

隣国のオンラインイベントに参加して

ヴォロビヨワ・ガリーナ、Ph.D.

◆コロナウィルスのパンデミックのため、計画していたイベントをオンライン方式で開催する機関や団体が増えています。ウェブ会議システムを利用すれば、世界各地から参加できるので、中央アジアでも諸国間の協力が緊密になりました。



◆2020 年 8 月 20～21 日、ウマロワ・ムノジャット先生のご招待でウズベキスタン国立世界言語大学付属外国語イノベーティブ教授法開発科学実践センター主催の日本語教育オンラインセミナーにビシケク国立大学のウシケムピロワ・ナズグーリさんと一緒に参加しました。

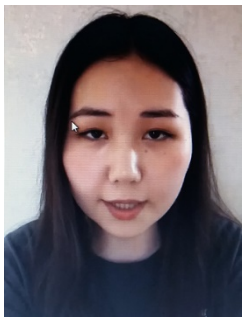
◆昨年来の計画では、講師の作田奈苗先生と関麻由美先生はこの夏ウズベキスタンとキルギスで対面式セミナーを実施する予定でしたから、セミナーのテーマはキルギスと同じ「多読」と「漢字マップ」でした。

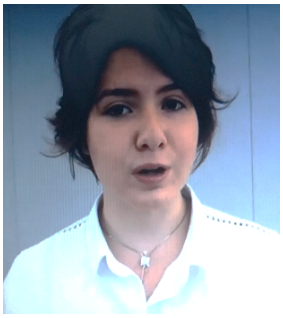
◆キルギス日本語教師会にとって初めてのオンラインセミナーが目前に迫っていたので、経験を学ぶ上でも絶好の機会でした。

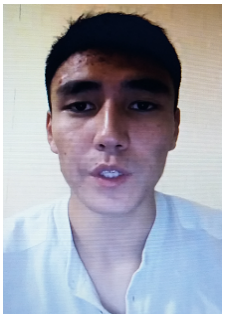
◆ウズベキスタン日本語教師会がきっかけを作ってくれたおかげでキルギスでのセミナーに中央アジアから嬉しい参加がありました。8 月 24～25 日の「キルギス日本語教育セミナー2020」に、ウズベキスタン、カザフスタン、そしてタジキスタンの日本語教師が参加してくれたのです。経験を交換し合えるとても重要なオンラインセミナーでした。

◆さらに 9 月 5 日にはカザフスタンで国内弁論大会が開催されボロンクロワ・サマル先生に招待していただき今度もウシケムピロワ・ナズグーリさんと一緒に参加しました。

◆出場者は 11 人で、スピーチのテーマは様々でした。「みんなと違う人たち」、「私達の中の壁」、「自分だけの道がある」、「才能は 1%のひらめきと 99%の汗」、「力を与える日本語」、「愛国心を育てるには」などでした。







◆今回出場者は予めスピーチを録画しておいて、そのビデオが大会のとき上映されました。スピーチの内容は面白くて、若者の考え方を知ることができました。上手な話し方だけでなく説得力のある発表ができた出場者がいました。弁論大会では普通スピーチが終わってから内容に関する質疑応答が 2 問あるのですが、今回は一つも質問がありませんでした。1 位になったカザフスタン日本人材開発センターアルマティのムサエワ・ヤスミナさんは日本訪問というご褒美を獲得しました。

◆キルギスでは 10 月に国内大会が開催されますが、同じくオンライン日本語弁論大会になります。カザフスタンで得た経験が役立つと思います。中央アジア諸国との交流と協力がこれからも活発に続いていくよう期待しています。

『2020 年キルギス国内日本語弁論大会』開催のご案内

2020 年 10 月 17 日キルギス時間 10:00～（オンライン方式）

◆2020 年に入って以来、世界的な新型コロナウイルスの流行によって、私たちの生活は今までとは全く変わったものになってしまいました。みなさんもこの間、いろいろと大変なことがあったと思います。

◆当初は4月開催予定だったキルギス国内日本語弁論大会も延期せざるを得ない状況となりました。一時は中止も検討されましたが、実行委員会では話し合いを重ねた結果、キルギス国内日本語弁論大会史上初めてのオンラインというこれまでとは全く違った形式ですが、10 月 17 日に 2020 年キルギス国内日本語弁論大会実施を開催することにしました。

◆当初計画されていた実施日から半年近く遅れての実施にはなってしまいましたが、ここで大会実施のご案内ができることを、本当に嬉しく思っています。実施に向けて多大なるご協力をいただいている、在キルギス日本国大使館、ならびにスポンサーの皆様にお礼を申し上げます。

◆国内日本語弁論大会は例年、初級の「A 部門」と初中級以上の「B 部門」の 2 部門での発表としてきましたが、今回は B 部門のみとなります。

◆今回のオンライン大会には、すでに大学を卒業した人も含め春に所属機関代表としての出場資格を得ていたうちの 11 名が出場を表明してくれました。

◆オンラインでの実施方法ですが、弁論大会参加者には事前にスピーチを録画してもらい、スピーチ部分の審査は大会当日までに行われます。大会当日は、質疑応答とその審査が行われます。

◆キルギスのインターネット回線の状況を考慮し、当日は弁論大会参加者、審査員ならびに実行委員会など関係者のみが参加できることになっておりますが、当日の様子は録画し、後日広く公開させていただきたいと考えております。

◆実行委員会一同、2020 年キルギス国内弁論大会の成功に向けて力を尽くして参りますので、どうか応援をよろしくお願いします。

国内日本語弁論大会実行委員
風間 祐月

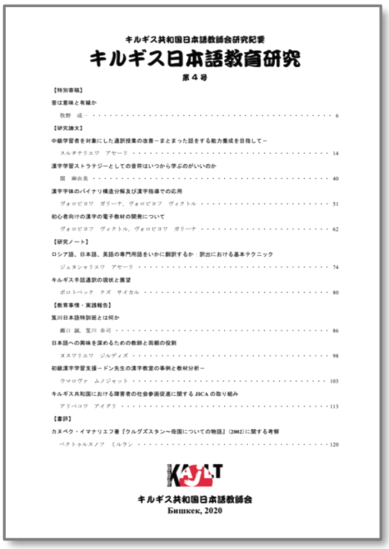
Республиканский конкурс ораторского искусства на японском языке

1. Дата проведения: 17 октября 2020 года с 10:00 до 13:00 по бишкекскому времени.
2. Конкурс ораторского искусства проводится в онлайн-режиме на платформе ZOOM. Конкурс должен был пройти в марте 2020 года, но в связи с объявленным в стране карантином было принято решение отложить его проведение до стабилизации ситуации. Затем оргкомитетом было принято решение провести конкурс онлайн.
3. Участники: студенты и учащиеся учебных заведений, которые в конце марта 2020 года соответствовали требованиям к участникам конкурса.
4. Участники до 5 октября 2020 года высылают видео своих выступлений в оргкомитет. Оргкомитет отправляет видео членам жюри (5 человек: представитель Посольства Японии в КР, представитель JICA, эксперт Японского фонда, г-н Молдогазиев, от Ассоциации преподавателей – Янез Михельчич-сэнсэй). С 10 до 16 октября члены жюри просматривают выступления и выставляют оценки.
5. В день проведения конкурса транслируются видео участников, после завершения каждого видео участнику задаются 2 вопроса, и члены жюри оценивают ответы. Эти оценки суммируются с ранее выставленными оценками за выступления.
6. Требования к съемке выступлений: однотонный фон (стена, штора и т.п.), в кадр должна входить верхняя часть тела до пояса, не должны быть слышны посторонние звуки.
7. Требования к одежде: для юношей рубашка, желательно однотонная, не сливающаяся с цветом фона, для девушек строгое платье.

★ Пользуясь случаем, выражаем благодарность посольству Японии в КР и всем спонсорам за оказанное содействие в организации предстоящего конкурса. Желаем всем участникам успешного выступления!

研究紀要『キルギス日本語教育研究』について

Главный редактор
Джунушалиева Асель



キルギス共和国日本語教師会研究紀要

キルギス日本語教育研究

第４号

【特別寄稿】
音は意味と有縁か
牧野 成一 …… 6
【研究論文】
中級学習者を対象にした通訳授業の改善－まとまった話をする能力養成を目指して－
スルタナリエワ アセーリ …… 14
漢字学習ストラテジーとしての音符はいつから学ぶのがいいのか
関 麻由美 …… 40
漢字字体のバイナリ構造分解及び漢字指導での応用
ヴォロビヨワ ガリーナ, ヴォロビヨフ ヴィクトル …… 51
初心者向けの漢字の電子教材の開発について
ヴォロビヨフ ヴィクトル, ヴォロビヨワ ガリーナ …… 62
【研究ノート】
ロシア語、日本語、英語の専門用語をいかに翻訳するか：訳出における基本テクニック
ジュヌシャリエワ アセーリ …… 74
キルギス手話通訳の現状と展望
ボロトベック クズ サイカル …… 80
【教育事情・実践報告】
笈川日本語特訓班とは何か
瀬口 誠, 笈川 幸司 …… 86
日本語への興味を深めるための教師と両親の役割
ヌスワリエワ ジルディズ …… 98
初級漢字学習支援－ドン先生の漢字教室の事例と教材分析－
ウマロヴァ ムノジャット …… 103
キルギス共和国における障害者の社会参画促進に関する JICA の取り組み
アリベコワ アイグリ …… 113
【書評】
カヌベク・イマナリエフ著『ウルグズスタン～母国についての物語』(2002)に関する考察
ベクトゥルスノフ ミルラン …… 120

KAJLT

キルギス共和国日本語教師会

Бишкек, 2020

В феврале 2020 года вышел очередной сборник научных трудов «Научные исследования в области преподавания японского языка в Кыргызской Республике» №4, который знакомит с результатами исследований о Японии и методах преподавания японского языка в Кыргызстане, в Японии, в Центральной Азии.

Хочется отметить, что 4-ый сборник стал самым большим объемным сборником, который включает в себя статьи известных японских исследователей, ведущих специалистов Кыргызстана, Центральной Азии., Японии и США. Он содержит 12 научных статей большинство, из которых посвящены изучению японских иероглифов и технике перевода. Кроме того, открылась новая рубрика 書評, где можно познакомиться с только вышедшими книгами, связанными с историей, культурой Кыргызстана и Японии, изучением языков и др.

Пользуясь случаем, хочу выразить благодарность редколлегии сборника научных трудов – Воробьевой Галине, а также Уваровой Нами и Сайдзё Юто, которые уже много времени помогают сборнику выйти в свет.

Научный сборник можно скачать на сайте ассоциации преподавателей:
https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdofree.com/紀要-キルギス日本語教育研究/

Если у вас есть желание, то в данное время идет набор статей для публикации в сборнике статей №5. Статью необходимо предоставить до 30.10.2020г. 17:00 по бишкекскому времени. Требования к оформлению статьи также можно скачать с сайта Ассоциации преподавателей.

キルギス共和国日本語教師会研究紀要『キルギス日本語教育研究』第 4 号が 2020 年 2 月に発行されました。

日本に関する研究実績とキルギスをはじめとする中央アジア各国と日本の日本語教育事情・日本語教育に関する実践報告、日本とアメリカの著名な研究者、キルギスはじめ中央アジア諸国を代表する研究者の論文が掲載されており、今までで最も内容量の大きい紀要となりました。

研究論文は１２本が掲載されていますが、そのほとんどは漢字学習と Translation Studies（翻訳通訳論）に関するものです。また、研究論文、教育事情と実践報告、研究ノートのほか新たに「書評」がエッセイ部門として加えられました。

この場をお借りして、ヴォロビヨワ・ガリーナ、氏原名美、西條結人の各氏に対して創刊号から現在に至るまでの紀要編集と発行事業へのご協力に感謝申し上げたいと思います。

創刊号から第 4 号までの紀要は、
https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdofree.com/紀要-キルギス日本語教育研究/
からダウンロードできます。

なお、研究紀要第 5 号掲載原稿を募集中です。詳細は次ページあるいはキルギス日本語教師会のウェブサイトをご覧ください。

キルギス日本語教師会紀要編集委員会
委員長　ジュヌシャリエワ・アセーリ

『キルギス日本語教育研究』第５号原稿募集

◆刊行の目的

・キルギス共和国日本語教師会の会員等の研究成果・実践報告の発表に資することを目的とする

◆紀要名称

・紀要名称を『キルギス日本語教育研究』とする

◆投稿内容・種類

・日本語教育学、日本学、授業実践・教育事情報告、通訳・翻訳、その関連分野のもので、未公刊のもの（ただし、学会等での口頭発表はこの限りではない）
・同じ内容の原稿を他誌に投稿している場合（二重投稿）は不採用とする
・「研究論文」「教育事情・実践報告」「研究ノート」の３部門と適宜「エッセイ」ほかの部門を設ける
※「研究論文」は編集委員が任命する３名により査読を経て、掲載合否の決定をする

◆投稿資格

・キルギス共和国日本語教師会会員
・キルギス共和国日本語教師会会員との共同執筆者
・キルギスの大学に在籍する大学院生、学部卒業生、学部生
※学部卒業生、学部生については、指導教員またはそれに準ずる者との共著に限る
・キルギス共和国日本語教師会会員によって構成される編集委員会が特に認めた者

◆編集・発行形態

・教師会内に紀要編集委員会を設け、３名の編集委員で構成する
・年１回刊行（PDF 形式、冊子体で発行）

◆原稿の使用言語

・日本語・ロシア語を原則とし、その他の言語については,紀要編集委員会の判断による
※ただし,引用・用例の言語は原則として制限しない

◆投稿の方法

・投稿方法は、すべて E-mail での投稿とする　提出先：紀要編集委員会 kyoushikaikyrgyz.ed@gmail.com

◆投稿できる原稿数等

・投稿できる原稿は、共同執筆を含め原則として１号につき２編以内とする
※ただし、編集上の都合により１編に制限されることがある

◆投稿締め切り

・締め切り日は次の通りとする　2020 年 10 月 30 日 17 時（キルギス時間）必着
・提出後の差し替えは一切認めない
・締め切り日を過ぎて到着した原稿は,次号投稿分として受理する
※掲載時期を勘案のうえ,投稿を取り下げる場合は事務局まで連絡すること
・投稿前に必ず執筆要領に沿っているかを確認すること
（https://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/紀要-キルギス日本語教育研究/投稿ガイド-執筆要領/）

◆採否の決定

・投稿された原稿は,学会誌委員会による審査を行い,採否を決定する
・採否の結果及びその理由については、締め切り日から２か月以内に E メールにて投稿者に通知する

◆査読結果の取扱い

・紀要編集委員会からの査読結果及びコメントその他の通知内容は、当該論文の執筆者に対する伝達を除き、非公開とする

◆論文の公開

・本教師会ウェブサイト内の「教師会紀要　キルギス日本語教育研究」に、全文を公開する

◆著作権

・『キルギス日本語教育研究』に投稿された論文の著作権は、キルギス共和国日本語教師会に帰属する
※原稿の他の出版物への転載等は、キルギス共和国日本語教師会の許可を得たうえで行うこと

キルギス共和国日本語教師会紀要編集委員会
（2020 年８月）

※第５号発行は再来年 2021 年１月を予定しています。

JLPT 日本語能力試験中止のお知らせ

日本語能力試験2020年7月試験は、新型コロナウイルスの感染拡大のため全面中止となりました。キルギス共和国では、いまだ試験実施会場が確保できない状況ですので、12 月試験も実施を見送らざるを得ません。2021年の試験実施に関しては 2021 年 1 月以降、お知らせいたします。

В связи со сложившейся эпидемиологической ситуацией в стране, вызванной пандемией COVID 19, зимний экзамен по определению уровня японского языка (6 декабря 2020 г.) отменен.

キルギス共和国日本語教師会会報 第 57 号（2020 年 9 月 30 日発行）
編集：キルギス共和国日本語教師会広報委員会《会報編集部》

キルギス共和国日本語教師会事務局 E-mail: kajlt.jimukyoku@gmail.com
賛助会事務局 E-mail: kyoshikai.sanjokai.jimukyoku@gmail.com
https://www.evernote.com/pub/tm0y/kyrgyz_vestnik
http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com
https://ja.wikipedia.org/wiki/キルギス共和国日本語教師会
https://www.facebook.com/JLteachers.association.KR?ref=aymt_homepage_panel
http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/紀要-キルギス日本語教育研究/バックナンバー/